

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和2年度)

調査表

施設名	県立芸術劇場(メディキット県民文化センター)
指定管理者	公益財団法人宮崎県立芸術劇場
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)
県所管部課	総合政策部 みやざき文化振興課

1 施設利用状況

指標	R2	R1	H30	増減理由等
施設利用者数	112,643	241,888	272,554	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数等の減少。
利用率(ホール)	44.2%	72.8%	78.3%	
利用率(練習室)	67.3%	84.4%	92.8%	
コメント	新型コロナウイルス感染症の影響により、各指標はいずれも減少した。特に4月～5月、及び1月は大幅な利用制限等により大きな影響を受けており、利用者は平素の10分の1以下となっている。今後も、感染症予防対策を実施しつつ、利用者が安心して利用できる環境づくりを継続していく。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R2	R1	H30	支出	R2	R1	H30
指定管理料	479,030	479,030	470,218	人件費	120,198	134,133	128,781
委託料	31,287	21,596	214,628	事業支出	424,867	576,851	593,729
利用料金収入	29,578	57,166	64,365	県納付金(寄附金)	0	1,443	5,293
基金取崩収入	0	16,550	5,000	修繕費	33,017	34,305	217,601
その他事業収入	75,029	177,226	207,265	その他経常支出	2,178	2,128	986
合計(①)	614,924	751,568	961,476	合計(②)	580,260	748,860	946,390
収支差額(①-②)	34,664	2,708	15,086				
コメント	委託料は、大規模改修に伴う委託料である。 収支差額の黒字の主な要因は、新型コロナの影響による事業費の減少や、人件費の減少による。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和2年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃、定期清掃(2回)、特別清掃(ガラス・カーペット)
	保守・点検	舞台機構・照明・音響設備・空調機械、消防用設備
	警備	常駐警備
	修繕	県の改修実施計画を踏まえた修繕計画に基づき修繕を実施(令和2年度は非常用放送設備ほか改修)
	備品等管理	ピアノ等定期点検実施
	安全対策	危機管理マニュアル整備(地震・火災)、安全管理日常点検、国文祭・芸文祭を想定した避難訓練
	その他	光熱水費削減
企画運営業務	サービス提供体制整備	・貸館利用者をサポートするコーディネーターの強化、充実 ・接客研修等によるサービス向上 ・インターネットを利用したチケット予約システム及び施設予約システムの設置 ・近隣飲食店とタイアップしたグルメマップの作成 ・ホームページのお問い合わせフォームや意見箱からのお客様の声への迅速な対応 ・新型コロナの影響で中止となった公演のオンライン配信
	イベント等ソフト面充実	・自主文化事業の充実(公演内容の充実、県民等への芸術文化活動支援、県内公共ホールとの連携強化) ・宮崎県公立文化施設ポータルサイトの開設 ・友の会会員への広報活動強化 ・テレビ、ラジオ等におけるパブリシティの充実 ・ホームページのリニューアル ・フェイスブック、メールマガジンの活用 ・キャッシュレス決済の導入
	施設設備等ハード面充実	・劇場外壁パネル改修
	その他	美術館・図書館・博物館と連携した4館見学ツアーの実施
管理運営体制	27名(県派遣職員1名、正職員26名(令和2年7月1日現在))	
コメント	・新型コロナの影響により国際音楽祭をはじめ多くの公演等が中止になったが、感染予防対策を講じた公演の開催や、演奏のオンライン配信など、県民の芸術文化活動の拠点として、県民に愛される劇場づくりに努めることができています。 ・インターネット予約システムやキャッシュレス決済を導入するなど、利用者目線でのサービス向上が着実に推進されている。 ・劇場は開館から27年を経過しており、施設の経年劣化が進んでいるため、今後とも計画的かつ効率的な改修に努めたい。	

4. 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
<ul style="list-style-type: none"> ・公演の企画内容やスタッフ対応、料金の設定等、いずれも高い評価を得ている。 ・一方で、約7割が宮崎市内からの来場者であり、比較的年齢層が高いことから、より広範な、幅広い世代の方々に親しんでもらえるような取組を推進する必要がある。 	<p>多様な舞台芸術のジャンルやアウトリーチ、幅広い世代の方々が楽しめる公演など、引き続き、県民の多様なライフスタイルに応じた企画の実施に努める。</p>
<p>駐車場不足のため、特に大規模公演開催時などは来館者からの苦情が多い。</p>	<p>公共交通機関の利用を呼びかけるとともに、美術館や図書館と連携しながら、臨時駐車場の確保や誘導に努めた。</p>

5. 総合評価

評価コメント	<p>第三期指定管理期間では「顔の見える、親切的な劇場」づくりに取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と比較すると利用者数等が大幅に減少したものの、公演等の入場率については感染予防対策として入場者数を制限した状況下ではあるが、例年と同程度の水準を維持している。また、キャッシュレス決済の導入など、指定管理者制度導入の目的である利用者サービスの向上について、一定の成果が得られていると考える。</p>
今後の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の更なる強化や企画の充実により、県民文化振興事業等の県民への周知を図る。 ・また、利用者のニーズを的確に把握し、万全な感染予防対策を講じながら、更なるサービスの向上や新たな利用者の獲得に努めることで、より多くの、幅広い世代の県民が安心して文化芸術活動を行い、また舞台芸術に触れる機会の増加に努める。 ・なお、駐車場不足については、引き続き文化公園全体の問題として取り組んでいく。